

記帳 農業・不動産事業の 代行サービス

こんなお悩みはありませんか？

納税額を抑えたい！
節税したい！

日々の記帳が面倒

税制改正に
ついていけない

記帳義務化となったが
記帳のやり方がわからない

複式簿記で記帳したいが
パソコン操作が苦手

などなど…



そのお悩み記帳代行サービスにおまかせ！

日々の記帳から解放され、事業に専念できます

青色申告の方は、『65万円控除』または『10万円控除』を受けることができます

正確な帳簿を作成することで、経営を把握できます

高価なパソコンやソフトの購入の必要はありません

税制改正に対応した帳簿を作成します

◇記帳代行サービスの流れ◇

1 契約(初回のみ)

記帳代行サービスを申込みの方に対して説明会を実施し、サービスの内容と必要事項の確認を行い、契約を締結します。

2 定期訪問

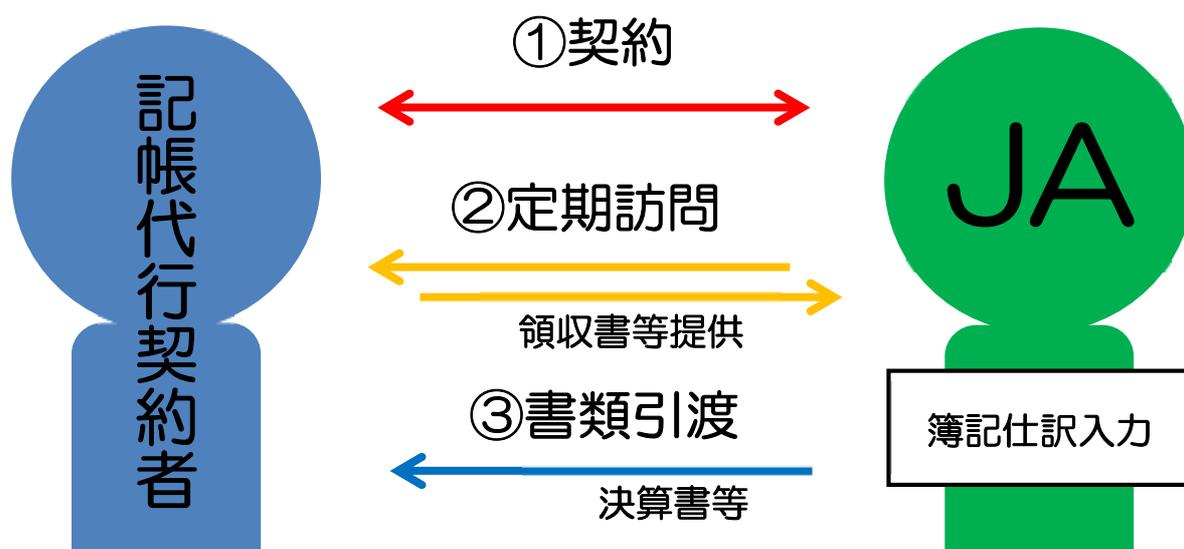
定期的に担当者が最寄りの支所で契約者と面談し、記帳に必要な領収書(JA外取引)や帳簿のご提供をさせていただきます。

※定期訪問は3ヶ月に1回、30分程度

3 書類引渡し

ご提供して頂いた領収書及び、JA利用の販売・購買・信用データ(複式簿記のみ)にもとづいて、JAが簿記仕訳入力を行います。

決算期(毎年1月)には、農産物棚卸や家事按分・減価償却資産・育成費等の間取りを行い、確定申告に必要な書類を作成し契約者へお渡しします。



◇記帳代行サービスの料金◇

契約内容		手数料 (税抜)	初期設定料 (税抜)	作成する帳簿・書類
複式簿記 (青色申告 65万円控除)	農業又は不動産	30,000円	5,000円	<ul style="list-style-type: none"> ・青色申告決算書 ・固定資産台帳 ・総勘定元帳 ・現金出納帳 ・預金出納帳 ・買掛帳 ・売掛帳 など
	農業と不動産	50,000円	10,000円	
簡易簿記	帳簿提出方式	農業又は不動産	7,000円	<ul style="list-style-type: none"> ・収支内訳書 ・固定資産台帳 ・現金式簡易帳簿
		農業と不動産	15,000円	
	領収書提出様式	農業又は不動産	15,000円	
		農業と不動産	30,000円	

※青色申告の方で、簡易簿記を希望される方は、10万円の控除を受けることができます。

※上記、記帳代行料金は、必要経費として計上できます。

◇記帳代行サービス利用状況◇

平成28年度契約者(人)

申告形態		農業	不動産	農業と不動産	
青色申告	65万円控除	93	12	10	
	10万円控除	2	3	1	
白色申告	帳簿提出方式	9			
	領収書提出方式	16			
合計		120	15	11	146

◇新規募集◇

記帳代行を希望される方や興味がある方につきましては、後日、詳細な説明会の案内をいたします。

◇お問い合わせ先◇

えひめ中央農業協同組合 金融部 資産相談課 TEL:089-943-3582